Minami Kyushu University Syllabus												
シラバス年度	2025年度 開講キャンパス			都城キャンパス			開設学科			ごも教育学科	教育学科	
科目名称	スポーツプログラ	ポーツプログラムⅡ			授業形	授業形態実技						
科目コード	150530	単位数	1単位	配当学年		1	実務経験教	員	0	アクティブ ラーニング	0	
担当教員名	竹田 展大			•			•			ICT活 用	0	
授業概要	本講義では様々な種目のスポーツを通し、受講生の技術水準に合わせ一人一人が果たすべき役割や、仲間との協力、パートナーに対するコミュニケーション能力を高めていける授業を創造していきます。 また健康の保持・増進や生活習慣病の予防・体力の向上などスポーツの実践によって得られる社会的効果についても考えていきます。スポーツを「する」だけでなく、「観る」「支える」といったスポーツに貢献する文化的な価値についても学習します。そして、様々なスポーツを理解した上で、自らスポーツを実践できる能力を身につけ、生涯心身共に健康的な身体作りを目指します。											
関連する科目	保健講義を同時期に受講しておくことが望ましい。											
授業の進め方	本授業では、第2回目と第30回目の授業において新体力測定を行い、自分の体力レベルを知る授業にします。基本的にアクティブラーニング型授業を行います。授業の際に準備・整理運動などの安全面の配慮や、学生のレベルが均等になる様、グループ分けを行い、実践を通して常にフィードバックを行いながら授業を進めていきます。											
と方法	「体育実技」という授業であるので、授業における課題の取り組みや学生同士のコミュニケーション、お互いに協力し合う協調性などを養えるよう進めていきます。											
授業計画	第1回 サッカー・フットサル:ルール・歴史・競技特性の理解											
【第1回】	ルール、マナー、用具、基本技術などについて説明する資料冊子を配布しサッカー・フットサルについて学ぶ											
授業計画	第2回 サッカー・フットサル:ボール慣れ・ボールを使わない時の手の使い方・ドリブル・パス・ヘディング・リフティング											
【第2回】	キックの基本、ドリブルの基本、パスの基本、ヘディングの基本を身につける。											
授業計画	第3回 サッカー・フットサル:グルーブ戦術の理解・トラップ・シュート・ゲーム											
【第3回】	スピード・タイミング・角度・距離の重要性を理解させ、個人・グループ・チームでのルール作成を行う。											
授業計画	第4回 サッカー・フットサル:審判法の理解と実践・ミニゲーム・ゲーム											
【第4回】	サッカー選手の規律と態度についてを実践させフェアプレーについて理解させる											
授業計画	第5回 サッカー・フットサル:ゲームの計画、運営・ランキング戦											
【第5回】	試合形式による学習の中から前回の反省を生かしチーム練習、ゲームを行う。											
授業計画	第6回 バレーボール:ルール・歴史・競技特性の理解											
【第6回】	ルール、マナー、用具、基本技術などについて説明する資料冊子を配布しバレーボールについて学ぶ											
授業計画	第7回 パレーボール:基本パス・基本レシーブ・基本アタック・サーブ											
【第7回】	パスやアタックの基本的な考え方と練習方法を理解させ実践で身につける。											
授業計画	第8回 バレーボール:サーブレシーブフォーメーションを考えたミニゲーム											
【第8回】	サーブレシーブフォーメーションを考えた練習方法や戦術を理解し、実践で身につける。											
授業計画 【第9回】	第9回 バレーボール:スパイクレシーブフォーメーションを考えたミニゲームスパイクレシーブフォーメーションを考えた練習方法や戦術を理解し、実践で身につける。											
授業計画	第10回 バレーボール:ゲームの計画、運営・ランキング戦											
【第10回】	試合形式による学習の中から前回の反省を生かしチーム練習、ゲームを行う。											

授業計画 【第11回】	第11回 レクリエーションスポーツ:パラスポーツの概要 障害、スポーツ、ならびにパラ(障害者)スポーツの資料冊子を配布しパラスポーツについて学ぶ。
授業計画 【第12回】	第12回 レクリエーションスポーツ:パラスポーツを体験 様々なパラスポーツを資料を配付し紹介し、実践する。
授業計画 【第13回】	第13回 レクリエーションスポーツ:マットスポーツの特性 歴史・安全確認・マット特性などについて説明する資料冊子を配布しマットスポーツについて学ぶ。
授業計画 【第14回】	第14回 レクリエーションスポーツ:マットスポーツのゲーム マットを使ったゲームやトレーニング理論を理解させ実践で行う。
授業計画 【第15回】	第15回 新体力テスト(握力・上体起こし・立ち幅跳び・反復横跳び・20メートルシャトルラン・長座体前屈) 1年間で自分がどれだけ体力に差が出たのか、自分の体力・身体について理解する。
授業の到達目標	①様々なスポーツの実践を通して、それぞれ基本技能を修得し、仲間とのコミュニケーションやチームワークを培うようにする。【態度・志向性】 ②スポーツに積極的に向き合えるようにし、実践を通して基本的ルールや守るべき伝統を理解し規律正しい行動や態度で取り組めるようにする。【知識・理解】 ③スポーツを通し自分に何が足りないかを理解し、目標設定と達成に向けて実践することが出来る。【自己管理力・生涯学習力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	【予習】-各自、その日の体調を考慮し、ストレッチを行ってくだい。(毎回30分程度) 競技に関するルールや伝統、競技特性などを予習しておいてくだい。(毎回1時間程度)~計30時間
授業時間外学習【復習】	【復習】-生涯スポーツの観点から開講期間中(4月から翌1月)に週1時間30分程度のスポーツ活動してください。~計60時間
課題に対する フィードバック	授業中に、取り組み・習熟度などについて全体への評価コメントを行う。必要に応じて、個人に対してもアドバイス・評価コメントを 行う。
評価方法・基準	授業実施回数の80%以上の出席をもって評価の対象とする。 以下の内容を総合的に評価する。 (1) 平常点評価 60%:授業態度、ルール、マナー、各種目への取り組み等,授業への積極性、貢献度を評価する。 (2) 授業内評価 40%:実技、筆記 (ルール、マナー、健康について)を実施し、技能、理解度や個人の体力向上とクラス内でのコミュニケーション能力を評価する。 ※遅刻、無断での途中退席、早退等は授業態度(取組み、積極性など)として評価されることがある。
テキスト	大学生のためのスポーツリテラシー&スポーツウェルネステキストブック』(日本文化出版)1,300円(税別) 配布資料による
参考書	体育の授業づくりの学修 大学教育出版 各競技の初回授業時などに必要に応じて参考書を紹介する。
備考	体調不良や怪我の場合は、速やかに教員に連絡してください。